

文句を言うのは簡単だけど、「すごいね」って褒めることを心掛けました



海老名市自治会連絡協議会会長 さつき住宅自治会会長

萩原好二さん(71歳)

「自治会に関われたお陰で、今ではさつき住宅住民の全員の顔が分かるんです」と語る萩原さん。自治会活動の傍ら、週2回「デイサービス」で勤務。とても元気です。

自治連会長として2年目を迎える萩原さん。自らも、さつき住宅自治会会長として日々活躍しています。自治連の仕事は、定例会議のほか、研修・近隣市や姉妹都市自治連との交流・行政との連絡調整などさまざまです。組織の中には「総務」「防犯」「防災」「福祉」「広報」「PR」の6つの専門部会があります。自治連や自治会について聞きました。

安全・安心を掲げて

自治連は市内59自治会の自治会長で組織しています。役割の一つは市と自治会をつなぐパイプ役。市の依頼事項などを定例会議で審議しています。身近なものだと、回覧物や配布物の調整、掲示物の掲出許可などですね。また、メンバー

は地域ごとにA～Eの5ブロックに分かれていて、全員が必ずどれかの専門部会に所属しています。各ブロックを学級に例えるなら、専門部会は学級内の係のようなもの。例えば、総務部会では扇町・めぐみ町・泉の自治会設立支援などを行い、広報部会では「自治連だより」を発行し会員に配布してい

生を祝う会」も少人数に合わせた内容になりました。ことしの新入生は5人と多く、全員女の子。「祝う会」で親や私を含めて総勢12人で女の子向けの映画を観て、ペンライトで盛り上がりましたよ。子どもの元気は自治会の活力です。

「おたすけ隊」と「見守り隊」で、高齢者対策にも尽力

さつき住宅の自治会加入率は高く、約90%です。でも高齢化率も高く、住民の約47%が65歳以上です。何十年もずっと住み続けている方が多いのもこの地区の特徴です。環境がいいし、暮らしやすいのでしょね、古いけど。独居高齢者が多いのも特徴で、さつき住宅には、「おたすけ隊」がいます。国分寺台地区を習って始めたものです。粗大ごみを下ろすとか、電球を替えるとか。生活のちょっとした「お助け」です。「見守り隊」もいるんですよ。「向こう3軒両隣、階段10世帯」を合言葉に、1人10世帯を受け持ちます。5階建ての団地なので、1つの階段で左右10世帯。新聞が溜まっていないうか、体調に変化はないかなを見守り

ます。何かあったら即対応しようとして決めています。高齢者にも元気でいてほしいですから。

いざという時に試される地域力

市の自治会加入率は、毎年約1%ずつ減少しています。「メリットがない」と、アパート単位で退会されてしまうケースも。若い人は忙しいし、自治会に魅力がないと感じてしまっている。自治会は、イベントや地道な活動をしていただけと思われがちですが、災害発生時には持ち前の地域コミュニティです。いざという力を発揮します。普段の活動はそのためのコミュニケーションです。いざとなつてか



▲さつき住宅自治会の夏祭り。みんな仲良しです

ます。防災部会は感震ブレイカーの普及促進の検討をするなど、「安全・安心な環境づくり」を目標に各部会がそれぞれの役割を受け持つて活動しています。先日は防災部会の会議に顔を出して、さつき住宅での防災備蓄の取り組みをPRしました。このように私は各種会議に出席したり、招待された地域のイベントに参加したり、時には自治会長からの相談に乗ったりと多忙な毎日です。自治連メンバーのチームワークはいいですよ。皆さん、地域思いで自分の意見をしっかりと持っているのも有意義な会議ができています。



毎年発行している「自治連だより」。昨年からは年度中間に「ミニ自治連だより」の発行も

らでは築けない。何げないと思われる活動の中で地域の人と顔を合わせ、信頼関係を築ける自治会としてとても大切なことですよ。

個々に防災グッズを

さつき住宅自治会は、東日本大震災まで何もしていない自治会だった。これを境に、備蓄や避難についての準備をしてみました。集合住宅の場合の階段避難はどうしようかというところから、人を乗せて階段をスリッパと降りる機械を、会費と市の補助で3台買いました。各々の準備の手助けとしては、希望する会員の自費購入なのですが、防災グッズや備蓄品のセットを自治会が取りまとめお届けするということをやりました。今は相当に意識が高くなったのではないのでしょうか。さつき住宅の防災への取り組みは自慢の一つなんです。

みんなが元気で住みやすいまちへ

自治連の会長として2年目を迎えました。前任の方が築いてくれた取り組みを、しっかり引き継い



▼1979(昭和54)年に建てられたさつき住宅

子どもの元気が自治会の活力

さつき住宅に住んで約40年です。昔は子どもが多かった。子どもたちは毎日、目の前の青少年会館(現えびな市民活動センター)に遊びに行っていました。自治会のイベントも、ミカン狩りやハイキングなど子ども向けのものが多かったですね。今は子どもが減り、「新入

自治連からのお知らせ

地域デビューで一緒にまちづくりをしませんか
自治連事務局(地域づくり課内) ☎(235)4793
11月1日～30日に「自治会加入促進キャンペーン」を行います。地域の自治会役員によるチラシ配布や未加入世帯の訪問を行います。ご理解とご協力をお願いします。

「子どもたちはここができる前の青少年会館を庭みたいにして遊んでいたよ。さつき住宅向かいの同会館跡地に建てられたピナレッジの屋上で



でいきたいと思っています。「加入率向上促進」「新規自治会設立支援」など課題は山積みですが、みんなが元気で住みやすい地域づくりをしていきたいと思えます。